

神栖市とユーリカ市は 姉妹都市締結30周年

図政策企画課 ☎0299-90-1120

1991年11月17日、神栖市はアメリカ合衆国カリフォルニア州ユーリカ市と姉妹都市協定を締結しました。姉妹都市締結30周年を記念して、これまでの交流実績をご紹介します。

親善訪問

- 1990年から2008年までに計11回、のべ177人の訪問団をユーリカ市へ派遣
- 1991年から2000年に、ユーリカ市姉妹都市委員会メンバーの市長と教育関係者らが計4回、のべ46人来訪
- 1994年度ユーリカ市の大工ホーレンベック一家が来訪し、神之池緑地内にガゼーボを寄贈
- 2015年度、神栖市市制10周年記念式典に出席するため、ユーリカ市長使節2人が来訪
- 2018年度、ユーリカ市へ市長と中学生2人を含む8人の訪問団を派遣し、桜の植樹、中学生ホームステイ交流などを実施

教育部門の交流

- 1992年から2008年に、中学生の相互派遣交流を15回実施。のべ参加者数は神栖市132人、ユーリカ市116人
- 1992年から1993年に、ユーリカ市から神栖市へ2人のALT(英語指導助手)を招致

神栖市国際交流協会の活動

- ユーリカ市との交流を契機に1992年、神栖町国際交流協会が発足し、訪問団のホームステイ受け入れや交流事業などを担う
- 2017年度から、ユーリカ市の小中学生と神栖市の小中学生間でペンパル交流を実施
- 2018年度に、神栖市在住者のデジタルアート作品をユーリカ市内で展示



①1991年11月17日ユーリカ市と姉妹都市提携 ②2006年姉妹都市親善訪問
③神之池緑地内ガゼーボ(2015年) ④2019年カミスパーク(ユーリカ市)で桜の植樹 ⑤現在のカミスパークの桜

締結当時のユーリカ市長ナンシー・フレミングさんからのメッセージ

長年にわたり、この人生を変えるような経験を可能にしてくれたたくさんの先生方とボランティアの方々に、そして、当初の同意と約束を尊重し続け、この素晴らしい友情を育ててこられた両市の市長の方々に感謝いたします。

現ユーリカ市長スーザン・シーマンさんからのメッセージ

姉妹都市協定は、海の向こうの友人と自分たちとの類似点をよく理解し、文化の違いを超えた友情を醸成させるのにとっても重要な役割を担っていると私は信じています。

コロナ禍でお互いに行き来できない中、私たちは現在も神栖市との関わりを維持する方法をいろいろと考えています。そうすることで、この長く価値ある関係を続けていくことができるでしょう。

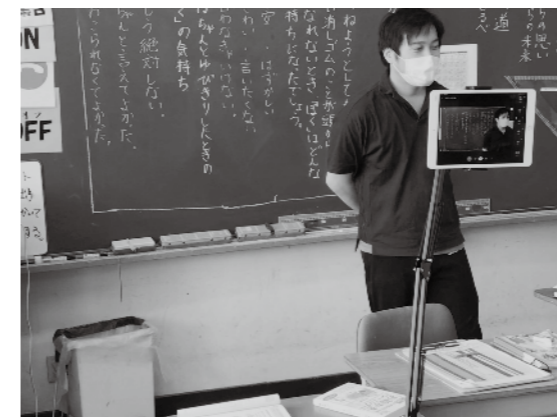
学力向上の推進

教指

児童生徒の資質・能力の育成のため、「アクティブ・ティーチャー」や「ICT活用指導力向上プロジェクトチーム」を先生方を中心に組織し、授業改善の活性化や、学習用端末の活用方法の検証などを推進しています。ICT教育では、県や大学などと連携し、より専門的な指導技術の向上を図ります。

オンライン学習の本格実施

教指



オンラインによる学習内容の配信

小中学校ではタブレットやWi-Fiなど、オンライン環境の整備や授業でのICTの活用に取り組み、2021年9月の緊急事態宣言下では、オンライン学習を本格的に実施しました。

一例として、小学校の社会科では同学年の先生たちが1つの教室に集まり、複数のクラスに学習内容を同時配信しました。また、中学校体育科では、室内でできる運動を先生が実演している様子を配信し、生徒から返信された動画にアドバイスをする、という取り組みも行なわれました。

幼稚園の給食提供

学務

公立幼稚園の魅力高めるとともに、保護者の負担軽減を進めるため、すべての公立幼稚園(うずも・石神・大野原・須田)で給食提供を開始予定です。(2022年度～)

県立高等学校との包括連携

政企

市と市内の県立高校3校とで締結した包括連携協定に基づき、地元高校の魅力向上を目指し、人材育成の支援体制の確立や生徒の通学利便性の向上を図っています。(2020年度～)

- 神栖市高校生キャリア育成支援金**
市内の県立高校に入学した市内在住の高校1年生を対象に、キャリア教育推進を図るため、学校長が推薦する生徒へ支援金を給付します。
- 神栖市スクールバス運行支援事業補助金**
市内県立高校のスクールバスを運営する団体などを対象に、スクールバス運行費用の一部を補助します。